

雪のランタンづくり

1 活動の概要等

雪の冷たさ・雪の重さ・雪の性質を体で知るとともに、創意工夫をして、協力しながら、1つの作品を仕上げます。

2 時期・時間

1～2時間程度

※用具等は準備してありますので、具体的な活動は各団体で進めてください。

3 準備

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
チャンカマン 等	活動に適した服装 帽子 (あまり厚すぎないもの) 手袋 耐風ローソク

4 活動場所

見晴らし広場 冒険広場 すりばち広場 工作館前 等

5 実施例

- ① ランタンを作る場所を決め、ろうそくを立てるための穴を深さ1～2cm程掘ります。
- ② 雪玉を作ります。ランタンの大きさにもよりますが、30個程作ります。
- ③ ろうそくの穴を中心に、周囲に雪玉を積み上げていきます。雪玉の壁を作る要領で、ろうそくが隠れる程度まで組み上げます。
- ④ 雪玉の壁ができたら、中心にろうそくを立て、暗くなったらろうそくに点火します。

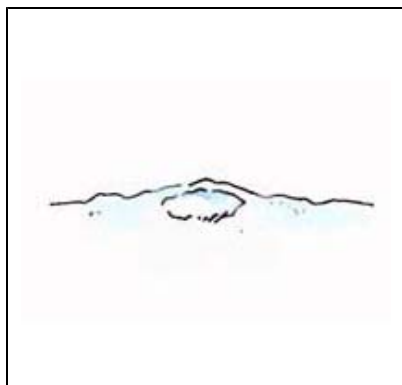


6 留意点

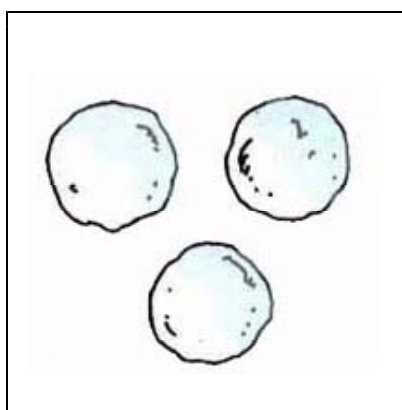
- ・風で消えないように、隙間を開けすぎないようにしてください。また、雪玉の壁の高さは、ろうそくを完全に覆うように作製します。
- ・サラサラ雪で、雪玉が固まりづらい時は、少し水を含ませて、雪をシャーベットのように入します。

[参考資料]

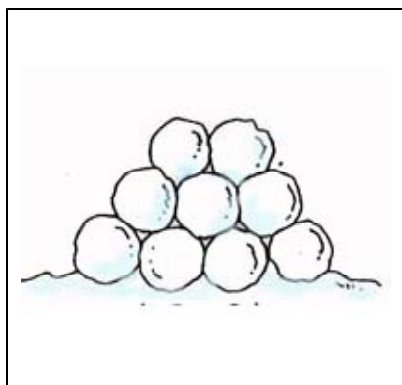
【スノーランタンの作り方】



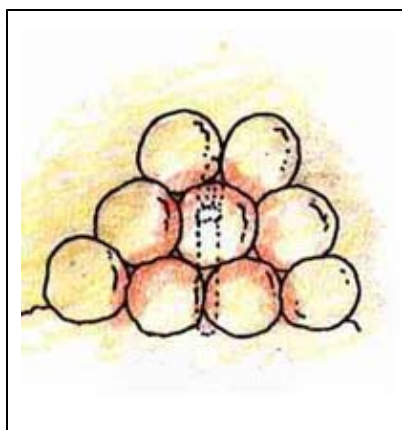
- 1 スノーランタンを作る場所がきまったら、ろうそくを立てるための穴の深さを、1～2cmくらい掘る。
(地面に直接作ったり台の上で作ることも可能)



- 2 雪玉を作る。雪玉の数はスノーランタンの大きさにもよるが、最低でも30個は作る。
雪質にもよるが、さらさらで固まりづらい場合は、水を少し含ませて、シャーベット状にすると、固まりやすい。



- 3 ろうそくを立てる場所を中心にして、周囲に雪玉を積み重ねていく。雪玉で壁を作る要領で積むと良い。
風の強い場合も想定して、ろうそくが隠れる程度の高さ以上にする。風の強いときは雪玉の隙間も少なくする。



- 4 雪玉の壁が出来上がったら、中心にろうそくを立てる。これで、スノーキャンドルは出来上がり。
あたりが暗くなったら、ろうそくに点火。